

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	伊那市
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松枯損木処理事業
事業費		3,268,253 円 (うち支援金: 3,040,000 円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫被害は年々被害が拡大しており、大径木や建物・道路付近、被害先端地山中の松枯損木については通常の伐倒が困難なため、特殊伐採が必要になるケースが増加している。

(2) 本事業の目的

特殊伐採による松枯損木処理を実施することで、松くい虫被害の拡大を抑えると同時に、倒木による被害を未然に防ぐこと。

事業内容

(1) 実施場所 伊那市松枯損木処理業務実施場所で、特殊伐採を要する場所

(2) 対象者 市内の森林所有者及び松枯損木処理委託業者

(3) 実施方法 建物・道路付近や大径木、被害先端地山中の松枯損木処理で、松林健全化事業及び保全松林緊急保護整備事業（衛生伐）の補助対象にならない特殊伐採処理を行なう。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（平成 30～令和 4 年度） 交通量の多い道路沿いや住宅付近などで、特殊伐採が必要となる箇所について事業を実施する。

②令和 3 年度実績

伊那市御園白山神社（破砕・特伐）、伊那市御園アクセス沿い（破砕・特伐）、伊那市美篤芦沢（特伐）、伊那市美篤南割集落センター（特伐）

事業費 3,268,253 円



事業効果

(1) 事業実施による効果

建物付近や道路沿い、山際等に発生した松枯損木は、通常の伐採では対応できず、重機の使用やツリークライミング等の特殊伐採を積極的に実施し、倒木による被害を未然に防ぐとともに、松くい虫被害の拡大を抑え健全な森林づくりを推進する。

処理木の搬出が困難な場所で多量に発生した枯損木については、搬出路を設置し搬出・破砕処理を行うことで森林環境の悪化を防ぐ。

(2) 継続性

松くい虫被害は、道路沿いや山際など特殊伐採を必要とする森林に沿って拡大する傾向があるため、継続して事業を実施することにより松くい虫被害の拡大抑制と倒木による被害の防止を図る。

(3) 普及性

特殊伐採を実施し、危険な松枯損木を処理することで、市民の暮らしを守り、里山の森林整備を推進することができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

本事業については、建物や施設に倒木による被害を及ぼしそうな箇所及び松くい虫被害の先端地で松くい虫枯損木の特殊伐採処理を実施し、松くい虫枯損木の倒木による被害や松くい虫被害の拡大を抑えることができた。

(2) 課題

補助事業として対応できない松くい虫枯損木処理は年々増加傾向にあり、財源の確保が課題となっている。

・ 推進支援金と市単独事業費	平成28年度	11,756,060 円
	令和2年度	19,178,321 円

(3) 今後の取組方向

■ 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害の拡大に伴い、補助事業として対応できない松くい虫枯損木処理が増加する傾向にあるため、今後も引き続き事業を継続する。

□ 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

□ 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)